

関連項目：教育活動プラン⑥

## 児童会活動を充実してよりよく生活を築く

### 目的

統合して2年目を迎える本校は、速やかな学校生活への適応を図るため、守るべききまりを教員が児童に周知徹底し、落ち着いた学校生活が送れるようになってきました。しかし、教員から指導を受けた時には守ろうとしますが、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする意欲の高まりは感じられません。そこで、児童会役員が各学級に呼びかけて「学校生活や校内の問題」を代表委員会で取り上げ、児童自らの手により解決させることにしました。

### 内容

#### ● よりよい生活を送るためのきまりを児童が決める

##### ・代表委員会でよい生活をつくる意欲を高め、実行する

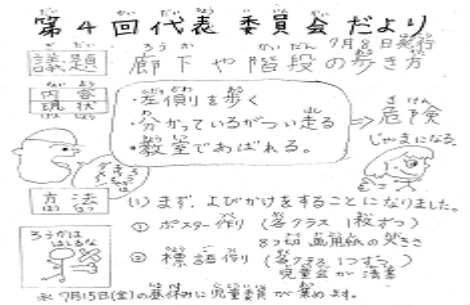
代表委員会では、児童が学校で生活する上で困っていることはないか、各学級に呼びかけて調査を行いました。多かったのは「廊下や階段の歩き方」「運動場の使い方」「あいさつ」等でした。そこで、「廊下や階段の歩き方」にしばって、児童自らの手でできることを決めて全校生に周知することにしました。(7月)

##### ・児童に任せることを広げて、きまり等を全校生に提案する

代表委員会で決めたことが学校全体のきまりになって表れることで、いろいろなことに挑戦したいと考える児童が多くなりました。「異学年となかよくする」「運動場の使い方」についても話し合い、全校生に提案しました。その中で、異学年との遊びでは、単に遊ぶ内容を決めるだけでなく、低学年の意見を聞いて遊びを決める等、心がけたいこと便りに加えました。廊下階段の歩き方では、「ストップ10秒やり直し」という子どもらしいきまりをつくる等、活動に広がりが見られるようになりました。(11月)

#### ● 児童会があいさつ運動を実施し、あいさつ名人を紹介する

毎週月曜日の早朝、児童会役員が率先してあいさつ運動を行います。全校生にあいさつをした時の気持ちよさを感じてもらいたいという気持ちからスタートしました。その後、お昼の放送であいさつ名人を紹介したり、あいさつ運動の広報として「たすきづくり」を行ったりしました。おかげで、毎朝学校のいろいろなところからあいさつの声心地よく響き合うようになりました。(通年)



<全校生に呼びかける代表委員会便り>

ブランコ・シーソーは  
ゆずり合おう!

ブランコ・シーソーを進んで使える日

曜日	月	火	水	木	金
学年	1年	2年	5・6年	3年	4年

優先順です。  
その学年の人が来たらずずりましょう。

<全校生への説明資料>



<児童会のあいさつ運動>

### 成果

児童生徒質問紙調査では、「学校のきまりを守っていますか」の質問に対して、「守っている」と回答した児童は約92%、「学級の友達同士で話し合って学級のきまりを決めていますか」の質問に対して「そう思う」と回答した児童は86%と規則遵守の意識は確実に高まりと広がりを感じます。今後は、さらに児童が自己選択する場を広げ学校での生活が楽しいと言える児童を育てていきたいと思ひます。